

別記様式第1－1号（5. 1 関係 申請書（新規__集成材））

令和（西暦）〇〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人農林水産消費安全技術センター 理事長 あて

申請者：〇×株式会社

山田 太郎

（※署名又は記名押印）

集成材の日本農林規格における接着剤の同等性能確認について（新規）

集成材の日本農林規格（（JAS1152）平成19年9月25日農林水産省告示第1152号）に規定されている接着剤の同等性能確認を申請します。

この申請及び提出する資料の記載事項は、事実と相違ありません。なお、これらのデータ等について、万一、疑義、紛争等が生じた場合には、当社にて一切の責任を負うことを誓約します。

記

1 申請者

- （1）会社名：〇×株式会社
- （2）責任者の役職名及び氏名：開発部長 鈴木 次郎
- （3）所在地：△□県〇△市×××…
- （4）連絡先
 - 1）担当者名及び所属：〇×株式会社 〇〇事業部 主任 佐藤 花子
 - 2）電話番号：xxx-xxxx-xxxx
 - 3）E-mail アドレス：xxxxxxxxx@xxxxxxxxx

2 申請接着剤の仕様

- （1）接着剤の名称及び型番※1：【主剤】（名称）〇×ボンド（型番）1234S 及び 1234W
【架橋剤/硬化剤】（名称）〇×ボンド（型番）AB-C
- （2）接着剤の主成分：水性高分子イソシアネート系
- （3）接着剤の配合比：100：20～25
- （4）要望する使用環境：B
- （5）要望する用途：積層用
- （6）被着材の種類※2：針葉樹

3 関連資料（データ等）別紙のとおり

4 同等性能確認に関する公表の要否※3：要

5 通知文書の発行形態 日本語、日本語及び英語※4：日本語及び英語

- ※1 接着剤の型番は、同一成分、同一配合のものを一型番とすること。2 液性の接着剤は主剤と硬化剤（架橋剤）の組み合わせを記載すること。1 液性の接着剤であって、その配合がほぼ同一のもので、複数の型番を申請する場合は全ての型番を記載すること。
- ※2 被着材の種類は、「広葉樹（高密度材）、針葉樹（中密度材、低密度材）」のうち該当するものを記載すること。
- ※3 同等性能が確認された接着剤は、FAMIC の Web サイトで公表します。このことについて公表の要否を記載ください。
- ※4 通知文書発行形態について、希望されるものを記載ください。日本語及び英語を選択される場合は、追加発行に係る手数料を請求いたします。なお、英語のみの発行は行っておりません。